

## 【サハリン1プロジェクトのパイプライン敷設完了と原油輸送開始】

新日鉄エンジニアリング株式会社

新日鉄エンジニアリング株式会社(社長 羽矢 惇) 海洋・エネルギー事業部(事業部長 西尾 仁見)は、2002年10月にエクソン・ネフテガス株式会社からサハリン1プロジェクトのパイプライン設計、調達、建設を一貫で受注し、以後鋭意その実行に取り組んでまいりましたが、このほどパイプラインの敷設が完了し、原油の輸送が開始されました。

本パイプラインは、サハリン島北部東海岸のチャイヴォからサハリン島北部を横断、間宮海峡を渡り更にハバロフスク州デカストリに新たに建設された原油出荷設備までを結ぶもので、口径24インチ(一部36インチ)、総延長は267キロメートル(陸上225キロメートル、海底42キロメートル)に及びます。パイプラインは極東ロシアの厳しい環境条件に十分耐えられるように設計されており、また環境保護の観点からも設計や施工方法に様々な配慮が行われました。パイプラインのロシア国内における設計、調達、建設工事は新日鉄エンジニアリングの100%子会社であるエヌエス・ネフテガスストロイ株式会社が担当いたしました。

タンカーに積み込まれ初出荷される原油は日本に輸出されることになっており、エネルギー中東依存度の高い日本にとって、今後、エネルギーの安定供給に大きく貢献するものです。

新日鉄エンジニアリング株式会社では、本工事の実績を活かし、今後もエネルギー開発プロジェクトが数多く計画されているロシア極東、サハリン地域において積極的な事業展開に努めてまいります。

お問い合わせ先 海洋・エネルギー事業部

03-3275-6411